

まちの 史跡めぐり



国会図書館所蔵資料の閲覧 (18)

町文化財専門委員
石瀧 豊美

の古絵葉書(写真1・2)を紹介することにします。写真1の門柱には「龍鳳採炭所」という門標がかかっています。後ろにそびえているのが豊坑櫓です。どうですか。志免町の豊坑櫓と間違えそうなくらいによく似ています。

写真1の左上に小さい字で説明があり、「一日の出炭一萬噸、東洋一の大豎坑と称す龍鳳採炭所。」【撫順全集】と書かれています。「撫順全集」という袋に入った、何枚組かの「撫



写真2

圖表1

草原の向こうに工場の建物が広がっているように見えます。絵葉書中央に書かれた説明は「撫順龍鳳採炭所巻塔」です。コンクリート製構造物の呼び名が豎坑櫓だとすれば、その機能(役割)に注目した時に「巻塔」となります。エレベーターのように籠(ケージ)を上下させる役割があります。写真3は写真2の上半分を拡大したもののです。

す。1932(昭和7)年に満洲国が成立し、1945(昭和20)年の敗戦まで続きました。旧満洲は現在は中国東北部と呼ばれています。かつての満洲国の首都は新京(現在は長春と呼ばれる)で、撫順は露天掘りの炭鉱としてもよく知られていました。龍鳳採炭所を経営したのが満鉄でした。

会編・発行、一九八三年)
なぜ豎坑櫓が必要とされたのかを説明した文章もありました。
龍鳳大豎坑は其の能力一日出炭五、〇〇〇噸である。現在地表から三七〇メートルの所にある一番坑道から、更に下部に発展して将来は五七〇米の所に三二番坑道、七七〇米の所に三番坑道を作る予定である。其の時は捲綱は太り、且つ長くなる。(『炭礦読本』南満洲鉄道株式会社編著)

日本は露戦争に勝利した。日本はポーツマス条約により、ロシアから鉄道事業を受け継ぎました。その經營に当たつたのが南満洲鉄道(略称 満鉄)で、

龍鳳採炭所は老虎台採炭所の東に隣接、走向延長約五キロメートルを三坑(三つの坑口)により採掘していた。当採炭所区域は浅部採掘を終つており、一九三三年(昭和八年)から龍鳳大豎坑の開発に着手し、一九三六年(昭和十一年)から採炭を開始した。本豎坑の捲揚機はケーベー式(井戸つるべ式)五四〇〇馬力を採用し、高さ六四メートルの捲揚機の上部に設置したので一大偉観を呈し、撫順名物とされたり。(『龍鳳』満鉄撫順炭礦龍圓

一九三七年)の巻綱(捲綱)をドラムに巻き付けると、巻胴が膨大になり重量八〇トンにもなって到底運用できません。それがつるべの要領で上下させるケーペ式を採用した理由です。また、満洲は冬は大変寒くなり、ケージが坑口内に入ると暖かく、坑口を出て外気に触れると表面が凍るほどです。その場合、綱がすべってケージが上昇しない、というのです。そこで外壁のある塔が必要とされました。ブーリーは

つるべの滑車の役割をするもの（巻上機）です。鉄骨の柱の間をレンガで埋めて壁にした
ようです。

夫を考慮に入れて捲機を地上に据へ付けるのをやめて建設費は高いが捲櫓上にプレーをおく事にし捲櫓全体を被包し〔回りを覆うこと〕豎坑内と同一温度に保つことにして捲綱を外気に曝することを避けたのである。捲櫓は鉄骨構造とし煉瓦壁を施し其の高さ六七米となし五四米の所に捲機を据付けてある。(同)

地上4・6メートル（基準点からは53・65メートル）、鉄筋コンクリート造のワインディングタワー形をしている〔すなわち「巻塔」です〕。昭和18年に櫓が完成し、塔内には1,000馬力のケーペ巻上機が備わり、地下430メートルまで鉱夫や石炭、資材の搬出入を行っていた。この時代の

きるよう、志免町の豊岡櫻をぐるりと撮影してみました。シーメートの駐車場から右回りに撮影しました。写真8では下にひさしのようなものが見え、上には張り出しがありません。他の3面には張り出し部分があります。これに対し龍鳳採炭所は左右に対称的に張り出し部分があります。

A tall, modern concrete building with a grid of rectangular holes on its facade, standing in a grassy field under a cloudy sky.

写真5は、防風塔の外観を捉えたもの。塔は複数の段階で構成され、各段に多数の開口部がある。背景は曇り空で、塔の下部には柵がある。

A tall, modern concrete building with a perforated facade, standing in a parking lot. The building has a unique, textured appearance with many small holes in the concrete. It is surrounded by trees and a parking lot with several cars.

写真9

A tall, square concrete tower with multiple levels of open windows, standing in a grassy field under a blue sky with clouds. The tower has a rough, textured surface and is surrounded by a chain-link fence.

A tall, modern concrete observation tower with a spiral staircase and a small entrance at the base, set against a cloudy sky.

中報文庫 2025.6.17.7.1